

令和5年10月26日

令和5年10月羽島市教育委員会定例会会議録

令和5年10月羽島市教育委員会定例会会議録

令和5年10月26日、令和5年10月羽島市教育委員会定例会を羽島市役所本庁舎3階302会議室において開いた。

議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について  
日程第2 報第21号 羽島市教育委員会の後援等承認の報告について  
日程第3 議第46号 羽島市教育委員会後援等名義使用承認取扱要綱の一部を改正する告示について  
日程第4 ※報第20号 令和5年度要保護及び準要保護児童生徒の認定等の報告について  
日程第5 ※議第47号 令和5年度羽島市教育委員会表彰の被表彰者の決定について  
日程第6 その他  
1 各課の事業進捗状況  
(※印は秘密会で開催)

本日の会議に付した議事

議事日程に同じ

出席者

教育長（議長）	森	嘉	長
教育委員	黒	田	淳
教育委員	今	枝	甫
教育委員	春	日	民
教育委員	今井	田	裕

説明のため出席した職員の職氏名

事務局次長兼教育政策課長	小	川	隆	正
学校教育課長				
兼教育支援センター長	高	橋	浩	之
西部幼稚園長	安	藤	賢	治
北部学校給食センター所長	竹	内	弘	明
南部学校給食センター所長	豊	田	崇	宏
生涯学習課長	岩	田	睦	巳
図書館長	番		重	宗
スポーツ推進課長	柴	田	泰	宏

午後1時30分開議

日 程	発言者	発 言 の 要 旨
教育長挨拶	教育長	・ 11月は、市内3校の研究発表会がある。 竹鼻中学校にて全教科及び特別支援教育について、中央

		<p>小学校にて道徳教育について、福寿小学校にて算数に特化した授業研究についての発表がそれぞれ行われる予定である。</p> <p>また、羽島市では、竹鼻小学校と竹鼻中学校が、岐阜教育事務所より研修校として指定されており、3年に1回、発表会がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み明け以降、不登校になる児童生徒が、国、県同様に増加している。不登校は問題行動ではないと捉えているが、「不登校を生み出さない、不登校にならない」学校教育のあり方について考えていく必要がある。</li> <li>コロナによる欠席は数名であるが、インフルエンザを原因とする欠席が100名近い日もあるほど流行している。昨日まで市内4学級が学級閉鎖をしていた。本来は冬場が一番の流行期であり、今後、延期されていた宿泊研修や体育祭を実施する学校もあるので、感染対策に取り組んでいく。</li> <li>10月1日に、羽島市政功労者の表彰式が市役所で行われ、教育関係では黒田委員が長年にわたるご貢献で表彰を受けられたので、ご報告させていただく。</li> <li>10月21日に、生涯学習推進大会が行われた。講演会講師である立命館大学の山中先生が竹鼻中学校のご出身ということもあり、熱く思いを語ってくださった。「学びを行動に変える」という、地域づくりにおける生涯学習の大切さをお話しいただいた。</li> </ul>
開 会	議長	<p>出席委員が定足数に達していることから令和5年10月羽島市教育委員会定例会の開会を宣言する。</p> <p>報第20号及び議第47号について秘密会としたい旨述べ、委員の発言を求める。(各委員から異議なしの声あり。)</p> <p>異議がないので、報第20号及び議第47号について秘密会とすることが承認された旨述べる。</p>
日程第1	議長	<p>本日の会議録署名委員に今枝委員を指名する。</p>
日程第2	議長	<p>報第21号を議題とする旨述べ、説明を求める。</p> <p><b>【説明】</b></p> <p>以下の後援事業の申請者、目的、事業開催内容等を説明する。</p> <p><b>【教育政策課長】</b></p> <p>(第19回「邦楽の祭典」、華道家元池坊大垣支部羽島たちばな会 いけばな展～秋風に誘われて、ときめく心～、チェロの波2024、第29回ぎふ「太鼓」ふるさとまつり、第51回手話まつり、永田佐吉翁彰徳祭催し物 嶋崎孔明コンサート、ゆめ広場クリスマスハッピーコンサート20th、第33回羽島若獅子駅伝競走大会)</p> <p><b>【学校教育課長】</b></p> <p>(保護者のための特別支援教育講演会)</p>

		<p><b>【教育長】</b></p> <p>いけばな展について、大垣東高校の生徒による即興で生け花をするパフォーマンスが素晴らしかった。来年度、岐阜県を会場にして高等学校の総合文化祭が行われるが、そのプレ大会が今年岐阜県で行われる。その開会式でも生け花を即興で実演していただくこととなっている。</p> <p>永田佐吉翁彰徳祭について、嶋崎孔明さんは竹鼻中学校の教員であるが、この方は元劇団四季の団員ということで観客を魅了し圧倒しており、非常に感動した。</p>
	議長	<p>委員の発言を求める。(発言なし。)</p> <p>発言がないので日程第2 報第21号の報告を終える旨述べる。</p>
日程第3	議長	<p>議第46号を議題とする旨述べ、説明を求める。</p>
	<b>【説明】</b>	<p><b>【教育政策課長】</b></p> <p>令和4年4月より、生涯学習課とスポーツ推進課が市長部局へ移管したが、教育委員会の後援等名義使用承認の取り扱いについては暫定的なものとして改正していなかったため、今回、学校教育に関わる部分の後援申請を対象とするよう、後援基準を見直すものである。</p> <p>文化とスポーツに関して移管したことから、大人だけが対象となりそうな事業は後援対象外とし、子どもたちが参加する事業や、子どもたちも対象となる事業等については今後も後援するものである。</p>
	議長	<p>委員の発言を求める。</p> <p><b>【今井田委員】</b></p> <p>(1) 要綱内の「生徒」は中学生を指すということでよいか。(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのとおりである。</li> </ul> <p>(2) 非常に具体的で良いと思う。後援制度についての懸念として、企業が自己PRや広報の手段として利用することが考えられるが、そこはどうか対応するのか。(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要綱第3条第3項(7)で、「主に営利又は商業宣伝を目的とするものは受けることができない」としているため、これに抵触するか判断することとなる。</li> </ul> <p><b>【黒田委員】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化、スポーツに関する事業は今後対象外となるのか。(事務局)</li> <li>・ メインが児童生徒であるイベント等は後援するが、文化やスポーツは市長部局の生涯学習課やスポーツ推進課に移管したことから、メインの対象が大人で一部が児童生徒というものは、そちらが原則担うことになると考えている。</li> </ul>

		<p>ただし、教育的な部分があり教育委員会として後援することが適当と認められる場合は後援を行う可能性がある。</p> <p>さらなる委員の発言を求める。(発言なし。)</p> <p>発言がないので日程第3 議第46号は原案のとおり議決された旨述べる。</p>
日程第4	議長	<p>日程第4及び第5は秘密会で行う旨述べる。</p> <p>報第20号を議題とする旨述べ、説明を求める。</p>
日程第5	議長	<p>議第47号を議題とする旨述べる。</p>
日程第6	議長	<p>秘密会を解く。</p> <p>各課の事業進捗状況の説明を求める。</p>
	【説明】	<p><b>【教育政策課長】</b></p> <p>11月6日(月)に、第5回新しい時代の学校構想検討委員会を開催する。</p> <p>11月16日(木)に、令和5年度羽島市教育委員会表彰を開催する。</p> <p><b>【学校教育課長】</b></p> <p>(1) いじめの状況について</p> <p>令和5年9月22日から10月20日までの間に報告があった事例は、児童6件、生徒1件の合計7件である。</p> <p>今回は小学校低学年の案件が多くあった。多くが保護者からの連絡により認識したもので、中にはお互いに面識がない事案や、スポーツ少年団でのトラブルによる事案もあった。アンケート調査によって、学校がいじめの情報を掴んで指導を行うこともできた。</p> <p>(2) 不登校の状況について</p> <p>9月は、小学校・前期課程34名、中学校・後期課程112名の計146名である。</p> <p>夏季休業明けの不安を取り除くことができず、9月を迎えてしまったのではないかと考えられる。特に中学校が大きく増加しており、各校へその旨を伝えている。</p> <p>30日以上欠席についても増加傾向にあり、7月以降、面会できていない児童生徒が現在30名程いる。全欠の児童は1人減少しており、適応指導教室や学校での教育相談活動が定着し、窓口となる先生方の誠心誠意のアプローチがこちらに表れてきていると捉えている。</p> <p>(3) 交通事故・学校事故の状況について</p> <p>9月の交通事故は、5件であった。</p> <p>全て自転車の事故だが、全員ヘルメットを着用していたため、大怪我には繋がっていない。連絡が後日だったり、学校を遅刻してきて発覚したりする事案が最近増えているため、学校に対して確実な連絡をすることを保護</p>

者に呼びかけるよう指導した。

9月の学校事故は、1件であった。

遊具のコンクリートのトンネルに頭をぶつけ、頭を縫う事案であった。

(4) 感染症について

新型コロナウイルス感染症の罹患者は少ないが、インフルエンザが流行しており、10月19日には91名が罹患し、中央小・竹鼻中・中島中・羽島中で学級閉鎖が4つ、学年閉鎖が1つあった。

(5) キッズウィークについて

今年のキッズウィークは、3つの企画を行った。

・ イングリッシュデー

低学年は、体を動かしながら英語に親しむことを、中・高学年は、英会話を中心としたコミュニケーション学習を、中学生は、英語を使った紙芝居や俳句の制作等を行った。

・ プログラミング教室

15名が参加し、今回は、聖徳学園大学の加藤教授にご指導いただいた。

・ サイエンスクラフト

26名が参加し、保護者も参加可ということで、保護者は9名の参加があった。今回は身近なものを使って、科学の実験をしながら遊び道具を作った。

家に帰ってからも作った道具で楽しく遊んだという声もあり好評だったので、継続していきたい。

【西部幼稚園長】

- ・ 明後日28日に運動会を実施する。
- ・ インフル等の罹患は0人で、子どもたちは元気に過ごしている。

【南北学校給食センター所長】

特になし。

議長

委員の発言を求める。(委員から次の通り発言、確認あり。適宜職員等が次の通り説明し、了解を得る。)

【今枝委員】

- ・ 事案Aでは、被害者の保護者が加害者の保護者との懇談を求めて、保護者の謝罪の場と今後の学校の見守り体制について話し合いを行ったとある。我が子が加害者となった保護者は、被害者の子どもや親に対して謝罪等は行ったのか。

(事務局)

- ・ 自分の子が悪いと認め、謝罪を行っていた。

【今井田委員】

- ・ 親が謝る姿を見て、子どもが「あれは悪いことだった」

と実感することもある。仮に保護者が謝らず、子どもだけが謝って終わりとなると、子どもも自分の行った行為を軽く捉えてしまう場合もあるのではないかと思う。

事案 B では行為が継続していて、被害者の保護者は、席を離すだけで良いとおっしゃられているようだが気がかりである。また事案 C についても、被害者が欠席や早退を繰り返しているということは、今後この子は不登校になってしまう可能性もある。報告内容からは学校がどのような指導をしたのかが見えてこず、心配になった。

(事務局)

- ・ 教育委員会で報告している事案、すなわち学校及び教育委員会事務局が把握している事案に関しては、全て事務局の職員が学校へ訪問し、学校への指導を行っている。特に重大な事案や、保護者が謝罪を受け付けないぐらい憤慨されている事案等はとりわけ丁寧な対応をするよう学校へ指導を行っており、学校もすぐに動く体制はできている。

加害者、被害者となった子ども及び保護者に対し謝罪に関する話も行うが、被害者の保護者の中には相手の保護者とぶつかりたくないという意識がある方もいるようで、相手と「会わない・子どもを関わらせない」ことでメッセージを送るという選択をする場合もある。

【春日委員】

- ・ 加害者の子どもが謝罪をしないことについて、子どもに謝らせることができない親は変わった方かもしれないと感じるし、子どものことをしっかり見ているのか気になる。また、話をしても話が通じ合うのかと思わなくもない。

今は授業参観等も少ないし、コロナ以前と比べると、親同士の繋がりが薄いと感じる。関わる機会が全然ないので、その相手方のこともよく知らず、踏み入って良い人か否かという判断が難しいと感じる。

以前保護者間でちょっとした行き違いがあった時は、学校の先生の対応も「相手の方からの謝罪の電話はいいですか」等、形式張り過ぎていて、違和感を覚えた。

(事務局)

- ・ 保護者同士、先生と保護者についてもだが、同じ場にいたことがなく、お互いにどのような考えを持っているのかわからない状況で、問題が起きてから初対面となると、意思の疎通が図れないということはあると思う。

	<p>子どもはトラブルを経て成長していく面もあると思うが、見守り、導く立場である保護者、先生達大人の間でコミュニケーションが図れないことが問題と考える。</p>
<p><b>【説明】</b></p>	<p><b>【生涯学習課長】</b></p> <p>(1) 生涯学習推進市民大会（10月21日）  「チャットGPTで変わる世界・社会・私達・挑戦～新しい挑戦を今～」というテーマのもと、立命館大学の山中先生にお話をいただいた。チャットGPTの仕組みだけでなく、地域参画についてもお話があり、来ていただいた方には大変刺激になったと思う。</p> <p>(2) イタセンパラ塾（10月21日）  市内より、親子合わせて29名の参加があった。防災ステーションから湾処まで歩き、建設環境研究所の方があらかじめ準備してくださった川の生き物と直接触れ合う体験をした。子どもたちが普段触れ合うことのない生き物を目の当たりにして喜んでいる姿が印象に残っている。</p> <p>(3) 不二竹鼻町屋ギャラリーについて  10月7日より開催中の「一瞬の〈リアル〉を描くー上田薫の世界ー」が盛況であり、始まって2週間だが、昨日まで341人の方にご来場いただいている。</p> <p><b>【図書館長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館まつり（10月28日）  映画の上映会や、折り紙等のクラフト作り、また、今年からはボードゲーム会を開催する予定である。</li> </ul> <p><b>【スポーツ推進課長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フライングディスク教室（11月12日）  岐阜県立羽島特別支援学校の体育館にて、特別支援学校の在籍児童生徒及び市内小中学校の特別支援学級の児童生徒を対象に、子どもたちがトップアスリートと一緒にトレーニングや競技を体験することで、スポーツの魅力や楽しさを学ぶことを目的として開催する。  障害者フライングディスク公認指導者を初めとした指導者の指導のもと、アキュラシー（ゴールの通過数を競う競技）とドッジビー（ドッジボールのような競技）を行う予定である。</li> <li>・ サッカー教室  FC岐阜によるサッカー教室を、11月17日に堀津小学校、11月29日に桑原学園にて予定している。3年生から6年生までの児童を対象に、学年ごとにわかれて事業を実施する予定である。</li> </ul>
<p>議長</p>	<p>委員の発言を求める。（委員の発言なし。）</p>

閉会	議長	以上で本日の議事日程は全て終了したので、令和5年10月羽島市教育委員会定例会の閉会を宣言する。
----	----	---

午後3時20分 閉会

上記会議の概要を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和5年10月26日

教育長 森 嘉 長

委員 今 枝 甫